

教育を後回しにできない基金(Education Cannot Wait)と教育グローバルパートナーシップ  
(Global Partnership for Education)の相互補完性についての文書(抄訳)

2024年12月のGPE理事会で採択  
翻訳:教育協力NGOネットワーク(JNNE)

## 1. 目的

この文書は、ECWとGPEの2つの組織が存在することによる付加価値と、子どもや若者の教育に対して、人道支援を開発分野を超えてどのような補完的な役割を果たすのか説明することを目的とする。

## 2. ECWとGPEの補完性と付加価値

ECWは、そのような危機の影響を受けた子どもや青少年の教育ニーズを満たすために、より機敏で緊密かつ迅速な人道支援から開発までの連続した支援を行い、持続可能な教育システムの実現を目指している。一方、GPEは低所得国の長期的な教育改革を広範な使命とし、同時に危機に備え、緊急時に迅速な無償資金提供を行うなどすることで危機に対応し、危機から回復するための教育システムの能力強化を行う。ターゲットグループの大きさに違いがあるものの、どちらの基金も、受益者の参加と全体的な学習成果の向上を目指している。

ECWはGPEの資金提供の対象にならない危機に介入することができ、GPEは緊急ではない教育支援を行うことができる点で補完的な役割を果たしている。補完性によって、両者の地域や活動に違いを生んでいると言えるだろう。また、ECWとGPEは潜在的な混乱と取引コストの削減のために、両基金が関与する国レベルでのさらなるプロセスの合理化の必要性を認識している。危機の影響を受け、質の高い教育を受けられなくなる恐れのある子どもや若者の増加に伴い、異なる2つの組織の必要性は以下の4点から説明される。

### ① 教育資金の全体的な増額

ECWとGPEはそれぞれの資金調達手段を持ち、それは相互に補強し合うため、人道と開発分野全体での幅広い資金調達の可能性を秘めている。それはECWが設立以降、年々緊急時への教育資金を増加させていることから明らかだ。また、両基金は同じ開発志向のドナーからの資金調達予算から間接的に資金を奪い合うこともあるが、それぞれのマンドートの違いと資金調達源の多様性によって、ドナーに資金を求める際に重複しないようになっている。

### ② 多様な支援オプション

ECWとGPEは、さまざまな状況に適応した幅広い柔軟な国内融資オプションを提供する。国の教育制度が初期段階や脆弱である多くの場合、短期的な資金と長期的な資金の双方が同時に必要とされる。人道および開発のネクサスをつなぐためには、ECWとGPEを含むさまざまなアクターの比較優位を活用する必要がある。ECWは突発的な災害や急速な危機の拡大に迅速に対応することができ、GPEは教育システムにレジリエンスの構築しながら、システム全体の変化を促す証拠に基づいた投資を行う能力をパートナー国に提供する。

### ③ 調整メカニズムの強化

ECWは国レベルでは教育クラスターなどの人道対応調整メカニズムへの投資を活用し、GPEは国家の教育開発調整メカニズムを通じて活動する。両基金とも、相互補完的な調整メカニズムを強化、連携させ国レベルの教育計画を支援することで、支援の効率と効果を最大化させる。

#### ④ 多様なパートナーシップの強化

ECWとGPEは双方の運営方式を組み合わせることで政府、国連機関、国際および地域の組織、そして市民社会組織との多様なパートナーシップを促進し、教育支援の効率性と効果を高める役割を果たしている。ECWは、緊急事態や長期的な危機における経験や、直接的な実行の手法を用いることで、最も支援が必要な人々に焦点を当てる一方、GPEはパートナー国の教育開発調整メカニズムに基づき、多国間、二国間、非政府機関のアクターを集めて調和化された長期的な教育支援、教師の政策対話への参加や民間セクターとの連携を行っている。

まとめると、2つの組織の間には連帯責任があり、協力し合う機会を提供する明確な構造と背景がある。

### 3. 国家レベルでの協力

緊急下の教育を支援するECWと低所得国の教育システムの改革を支援するGPEの間には、脆弱なあるいは紛争の影響を受けた危機が長期化している国々があり、その支援を巡っては、コミュニケーションを通じた支援内容を明確化する必要がある。GPEが政府と協力して行う危機への備えと対応、危機の教育システムへの影響を最小限に抑える活動は、人道支援システムを通じて危機における迅速かつ複数年にわたって教育に資金を提供するECWの活動を補完する。両基金がこれまでどのような相互補完的な対応を行ってきたか、4つ具体的な状況を挙げる。

#### ① 突然の状況変化

突然政府との協力が不可能な状態になった場合、新たな資金調達ルートへの教育サービスを継続が必要になる。最近では、ECWとGPEは、アフガニスタン、ミャンマー、ニジェール、エチオピア、スーダンなどで協力し、教育の継続性を確保に務めた。

#### ② 事実上の政府が機能していない場合

クーデターや政治的動乱により、国際社会と事実上の政府の接触が困難になった際、ECWとGPEは国連とドナーの支援調整に頼りながら、別のメカニズムを通じて活動を行う。例えば、紛争が続くシリアでは教育対話フォーラム(EDF)の設立後、ECWが複数年レジリエンスプログラム(MYRP)による初期支援を行い、その後GPEが同プログラムに対して追加の資金提供を展開した。ミャンマーでも教育危機に対してECWとGPE、二国間支援が協力し補完的に活動を行った。

#### ③ 長期化する危機

南スーダンでは政府の統率力によりECWとGPEの緊密な連携を可能にした。2022年の洪水の際には教育への洪水の影響の軽減のため政府の要請に基づき、GPEは1,000万ドルを前倒し資金を提供し、その後ECWはMYRPの追加支援を行った。

#### ④ 難民と国内避難民

ECWとGPEはコンゴ民主共和国で危機に直面している子供たちへの教育継続を支援している。2023年初頭から一部の地域で複数の危機が深刻化し、国内には630万人以上の国内避難民がいる。両基金は臨時学習スペースの設立や心理社会的サポートを含む教員研修や教育の質向上、性別に基づく暴力の予防と対応で連携している。

### 4. セクター間の協力

GPE と ECW は統治メカニズムへの相互参加が保障されており、GPE の代表は ECW のハイレベル運営グループおよび執行委員会のメンバーとなっており、2024 年 6 月以降 UNICEF や UNHCR と協働する国連構成体を通じて ECW は GPE の理事会に参加している。相互参加を確保することで、両者の関心分野に関する情報や意見交換が行われている。緊急事態が発生した際には、両組織の国別担当者が迅速に情報を共有し、両組織から受けられる資金や国レベルでの調整を行う。また両組織が危機への支援を行っている場合、各国の担当責任者が連絡を取り合い、必要に応じて問題を両組織の責任者に報告する。国内のパートナーは両組織の決定に関与し、助成金申請の質を確保しつつ、両組織間での資金提供が補完的になるよう努めている。各組織が使用する多様な外部コミュニケーションとアドボカシーチャンネルは、危機の影響を受けている子どもや若者のニーズを広めるために必要に応じて定期的に共同で活用されている。

## 5. さらに協力機会に向けて

人道・開発・平和構築のネクサスにおいて対応や効果の強化、介入の調整や持続可能性の向上といった触媒効果を引き出すために、さらなる取り組みが可能な分野は数多く存在する。具体的には以下を含む。

- a) 状況分析: 両組織のレビュー過程で得られた分析結果を活用し、国レベルのパートナーを巻き込みながら、新旧プログラムの改善と調整を図る。
- b) タイミングの調整: 南スーダンの MYRP の例のように、プログラム開発や資金提供のタイミングを合わせることで、国レベルでの一貫性を高める。
- c) 活動の順序付けと明確化: 地域の状況に応じて活動を整理し、地元の関係者と協力して最適なプログラムを決定する。投入する順序を含めて、ECW と GPE の資金が相互補完性を確保することが求められる。
- d) 統一された声明: 教育資金の縮小や脆弱性の増加に対して、グローバルおよび国レベルで対話を継続し、特に忘れられた危機について意識を高める。ECW と GPE は、気候変動政策と資金調達に関する共同アドボカシー活動を強化する予定である。
- e) 調整: 国レベルにおける Local Education Group と緊急教育メカニズムとの間で早期の議論を促し、ECW と GPE への申請書の作成に関与する人々を意識的に選ぶことが重要である。
- f) 共通のプログラムの目的: 可能であれば、共通の成果フレームワークを使用し、既存の教育戦略やセクタープランに沿った調整を行う。
- g) モニタリングシステム: ECW と GPE が同じ状況で資金を提供する場合、助成金のモニタリングシステムを評価し、共同運営委員会の設置を検討する。
- h) 技術的作業: ジェンダーに関するデータやグッドプラクティス等を両組織委は共有し、強固な関係を築いてきた。リスク管理に関する協力と交流も確立されている。
- i) 持続可能性と撤退: ECW が国から撤退する際、緊急対応から長期的なシステム強化への円滑な移行を確保するために、ECW と GPE は協力し、慎重にタイミングを選択する。

以上